

木島平村
第7次総合振興計画
(概要版)

令和6年9月
木島平村

村長あいさつ



昭和30年、木島平村が新村として発足して以来、高度成長、バブル経済、バブル崩壊、過疎化、人口減少、少子化など様々な時代を経験してきました。その中で村は10年ごとに総合振興計画を策定し、時代ごとの課題に取り組み、村づくり・地域づくりを進めてきました。

しかし今、時代の変化はこれまでと比較にならないほど早くなりました。高齢化や少子化、人口減少は予想以上の速さです。また、AIやキャッシュレスなどでデジタル化の急速な進歩は生活様式だけでなく社会の仕組みまでも大きく変えようとしています。そのため、令和7年から始まる第7次の計画期間は8年としました。

どんな世の中であっても自然豊かな木島平の大地と風景は不変であり、誇りをもってこの地に住み続ける人がいる限り木島平村は持続可能であり、不滅です。そこで8年後の将来像を「誇りと愛着を育み、一人ひとりが希望を持てる木島平」～誰もが暮らしやすい持続可能な村～としました。

計画策定にあたり様々なご意見を頂いた村民の皆様、熱心にご審議頂いた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。8年後、そしてまたその先の未来に向けて木島平村が持続可能な村として着実に発展していくため、今後とも村民の皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

木島平村長

日 臺 正 博

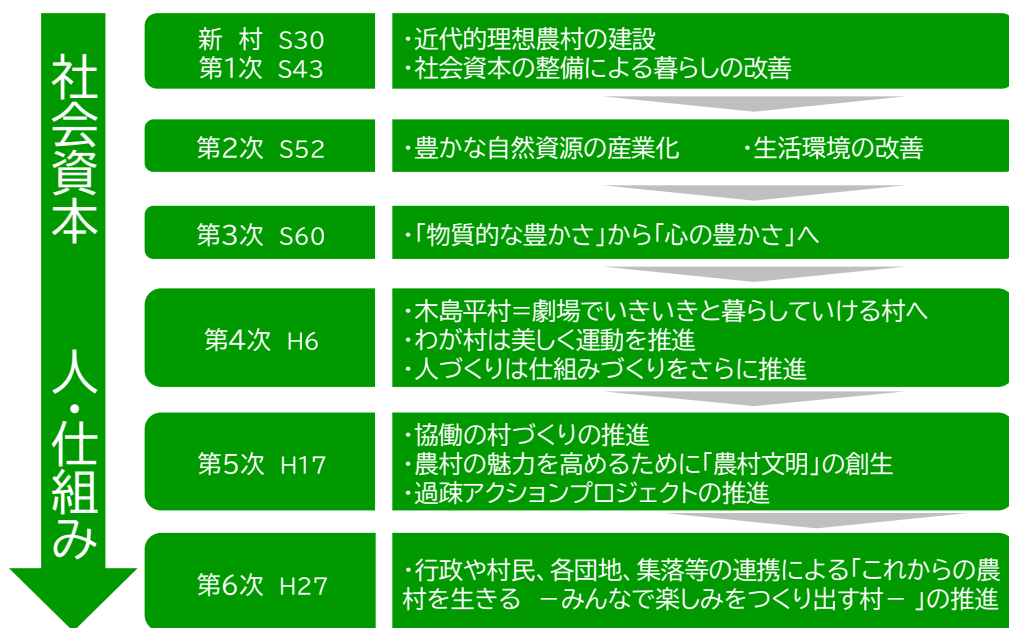
目 次

1. 計画策定の趣旨.....	4
2. 計画策定の背景.....	5
3. 基本構想.....	6
4. 基本計画.....	7
5. 地区づくりテーマ.....	15

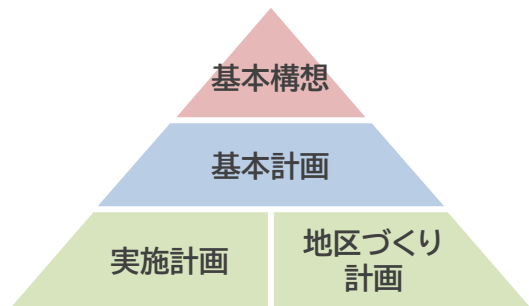
1. 計画策定の趣旨

- 全国的に人口減少・少子高齢化が進行する中、都市と地方との転出入格差はまだまだ続いており、地方の過疎化や地域産業の衰退等が大きな課題となっています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大は、観光業など地方経済を支える産業への打撃や地域コミュニティの弱体化など、地方の経済・社会へ大きな影響を与えました。
- 当村においても例外ではなく、一層進む少子高齢化や税収の減少等、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しい状況となることが予測される一方で、価値観やライフスタイルの変化にともない村民ニーズも多様化していくものと考えられます。
- 今後、木島平村における自主・自立の村づくりを改めて考えたとき、村民と村が将来像を共有し、その実現に向けて村民・区・企業・団体など多種多様な参加と協働により、総合的かつ計画的に村づくりを進めることの重要性は、今まで以上に高まるものと考えます。
- このような認識のもと、現行の木島平村第6次総合振興計画(2015年度から2024年度まで)の計画期間終了後、木島平村の計画行政における中心的な役割を担う計画として、令和7(2025)年度を初年度とする木島平村第7次総合振興計画を策定するものです。

木島平村総合振興計画の歩み



木島平村総合振興計画の構成と期間



基本構想
木島平村の目標とすべき将来像及びその実現のための基本方針を示したものです。

基本計画
基本構想に則し、その基本方針を具現化するための基本的な施策を体系的に示したものです。前期4年間、後期4年間に分けて策定。

実施計画
基本計画で示した計画の基本的な方向と施策に基づき、毎年度実施する主要な事業について示したものです。計画行政の推進のため4年間分を示し、毎年度見直しを行う。

地区づくり計画
地区における将来像とそれを実現するための地区づくり事業を示し、毎年度実施する事業について示したものです。4年間分の地区における計画を示し、毎年度見直しを行う。

構成	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
基本構想	基本構想(8年間)							
基本計画	基本計画(前期4年間)				基本計画(後期4年間)			
実施計画 村づくり計画	計画(ローリング)							
		計画(ローリング)						
			(以降毎年見直し)					

2. 計画策定の背景

木島平村の課題の整理

子育て・教育・文化分野

- ① 本村では「自然動態」のマイナス幅が拡大傾向にあり、少子化対策は喫緊に取り組むべき課題です。
- ② 木島平型教育を推進し、ふるさと木島平を心に刻む教育を通じて、子ども達のふるさとへの誇りや愛着を育てていくことが重要です。
- ③ 子ども達が、グローバル化やデジタル化が進展する社会においても活躍できる力を育む必要があります。
- ④ 高齢化社会を迎え、文化活動やスポーツ活動など生涯学習の重要性が一層高まっています。

医療・福祉分野

- ① 高齢人口が増加し、保健・医療・福祉サービスの重要性が高まる中、村民アンケート調査においても、重要度の高い取組として「救急・休日夜間医療体制の確保」、「救急医療体制や福祉サービスと医療機関との連携」等、地域医療に関する取組が複数挙げられ、より一層の取組の充実が求められています。

産業分野

- ① 農業従事者の高齢化や減少等が進む中、デジタル技術を活用した、スマート農業へ取り組んでいく必要があります。加えて、残すべき農地のエリア分けや、新たな担い手による活用等の検討、効率的な農業経営に向けた農地の利用集積も課題です。
- ② 農産物の高付加価値化および地球温暖化に伴い顕在化する気候変動への対応も求められています。
- ③ 体験コンテンツの充実や、首都圏とのアクセスの良さを強みと捉えたプロモーションなどにより、本村へ訪れていただく機会をつくり、関係・交流人口の拡大に向けた取組を進めていく必要があります。また、本村においてもインバウンド需要を地域経済に取り込んでいくことが求められます。
- ④ 商店をはじめ事業所は商品・サービスの提供等を通じて村の暮らしやすさを支えています。新たな創業者がみられる一方、高齢化に伴う廃業等により、事業所数の減少が懸念されます。
- ⑤ 新たな事業の創出や、コロナ禍や原材料の高騰など社会情勢の変化を背景とした業態転換等への支援を行うほか、既存の事業所に対しては事業承継に向けた取組も検討して行く必要があります。併せて、移住創業者を誘引し、新たなビジネスの創出の促進にも取り組んでいくことが求められます。

インフラ・交通・暮らし分野

- ① 村ではデマンド交通のほか飯山駅からシャトル便の運行を行っており、車を持たない高齢者に加え、通学・通勤などの役割も果たしています。今後も継続して交通制度の見直しを図っていく必要があります。
- ② 近年、豪雨災害による被害が激甚化・頻発化していますが、誰一人取り残されることがないように、既存の多様な伝達手段に加え、デジタル技術を活用した新たな伝達方法についても検討を進める必要があります。
- ③ 脱炭素への流れが世界的に加速する中、本村においても持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。
- ④ 持続可能な地域づくりのため、都市部からの人の流れを促進し、人口減少の抑制を図ることが課題です。

自治・協働・共生・交流分野

- ① 地域における担い手不足が顕在化し、各種活動の維持・存続が課題となっています。
- ② 人口減少・少子高齢化に伴い社会保障費の増加など様々な影響が懸念される中、持続可能な自治体運営を行っていく必要があります。

3. 基本構想

(1) 将来像

木島平村が目指す8年後の将来像を次のように掲げます。

誇りと愛着を育み、 一人ひとりが希望を持てる木島平

～誰もが暮らしやすい持続可能な村～

誇りと愛着を育み

村の魅力を変えて再認識し、村民が地域に誇りと愛着を持つことで「住み続けたい」と思える村を目指します。

一人ひとりが希望を持てる

子どもから若い世代、高齢者まで誰もが希望を持って、それぞれの多様な幸せを実現できる村を目指します。

誰もが暮らしやすい持続可能な村

子どもから高齢者まで
誰もが安心して暮らし続けることができる **木島平村** を
実現していきます。

(2) 基本目標

「将来像」の実現に向け、推進する政策の5つの基本目標を次のとおり掲げます。

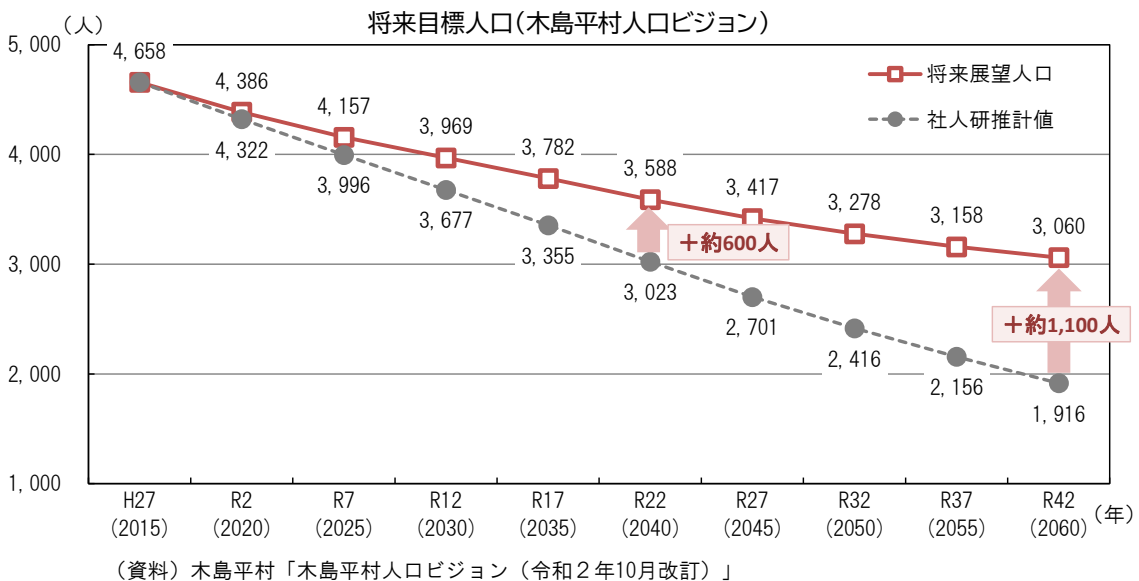
【基本目標①】 安心して子育てでき、誰もが学び続けられる	子育て・教育・文化
【子育て / 学校教育 / 生涯学習 / スポーツ / 文化】	
【基本目標②】 いきいきと健やかに暮らせる	医療・福祉
【生活福祉 / 高齢者福祉 / 障がい者福祉 / 地域医療 / 健康】	
【基本目標③】 多様な産業が活力を生み出す	産業
【農林業 / 商工業 / 観光業 / ブランド化】	
【基本目標④】 自然と調和し安心して暮らせる	インフラ・交通・暮らし
【消防防災 / 情報通信 / 生活環境 / ゼロカーボン / 道路交通 / 移住定住】	
【基本目標⑤】 持続可能な村をともに創る	自治・協働・共生・交流
【住民自治 / 人権 / 協働・共生社会 / 行財政 / 交流】	

4. 基本計画

(1)重点プロジェクト

重点プロジェクト設定の背景

- 本村の人口は今後も減少傾向が続くと予想されており、人口減少・少子高齢化が進行することで、地域経済の縮小や地域における支え合い機能の縮小など、社会経済の全般にわたって深刻な影響を受けることが懸念されます。
- こうした中でも、将来像「誇りと愛着を育み、一人ひとりが希望を持てる木島平 ～誰もが暮らしやすい持続可能な村～」を実現するためには、人口減少に立ち向かい、将来にわたって住みやすい持続可能な村にしていくことが喫緊に取り組むべき課題として求められます。
- 将来像の実現に向け人口減少に歯止めをかけるべく、目標とする将来人口として木島平村人口ビジョンで示された目標人口を掲げます。そして、これに向けて特に力を入れて分野横断的に取り組む4つのテーマを「重点プロジェクト」として設定し、重点的に推進していきます。



将来目標人口(木島平村人口ビジョン)

将来目標人口

令和22(2040)年 3,600人、令和42(2060)年 3,000人

※木島平村人口ビジョン(令和4年12月改訂)より

将来目標人口実現に向けた目標指標

人口の社会増減数	出生数
目標: ±0人(R2~R6) 基準: +6人(H27~R1)	目標: 30人(R2~R6平均) 基準: 20人(H30)

※第2期 木島平村まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和5年4月改訂)より

重点プロジェクト①	少子化対策プロジェクト
重点プロジェクト②	住み続けたい暮らし実現プロジェクト
重点プロジェクト③	魅力発信プロジェクト
重点プロジェクト④	デジタル化推進プロジェクト

将来目標人口および目標指標は、木島平村人口ビジョンおよび木島平村まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂とともに変更する予定です

4つの重点プロジェクト

【重点プロジェクト①】少子化対策プロジェクト

～若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

本村の人口は減少傾向にあり、出生数の減少傾向を抑制し、少子化に歯止めをかけることが喫緊の課題です。

若い世代が結婚や出産、子育ての不安を払しょくでき、理想とする子どもの数をかなえ、安心して子育てできる村の実現に向けた施策を重点的に推進します。

【重点プロジェクト②】住み続けたい暮らし実現プロジェクト

～未来へつながる安全安心で持続可能な暮らしを実現する～

全ての村民が「木島平村に住み続けたい」「村外へ出てでもまた戻ってきたい」と思えるためには、安全・安心で豊かな暮らしを維持・充実させていくことが不可欠です。

誰もが安心して住みつづけたいと思える村の実現に向け、暮らしやすい生活環境の整備や就労の場の充実など将来に向け持続可能な暮らしを実現するための施策に取り組みます。

【重点プロジェクト③】魅力発信プロジェクト

～地域への誇りと愛着を育むとともに、新たな人の流れを村の活力につなげる～

村民の方々の定住や還流の促進、また村外からの人の流れを生み出していくためには、村の魅力を確認してもらうことが必要です。村民においては地域への誇りと愛着を醸成し、また域外の方へは本村でのライフスタイルの魅力に気づいてもらい移住の促進へつなげます。また、テレワークの普及もあり、地方移住への関心が高まっている中、首都圏とのアクセスの良さなど本村の強みを生かし、希望に応じた多様なライフスタイルを実現しやすい村づくりを進めます。

【重点プロジェクト④】デジタル化推進プロジェクト

～デジタル技術を活用し地域の課題解決や魅力向上を図る～

人口減少に伴い懸念されるさまざまな地域課題へ立ち向かうためには、急速に発展するAIやIoTなどのデジタル技術を活用し、地域の課題解決や、これまで無かった新たな魅力の創出に取り組んでいくことが不可欠です。

教育や産業、暮らしや行政手続きなどさまざまな分野において、デジタル技術の導入・活用を進めることにより、利便性・効率性の向上や地域の競争優位性の強化を図ります。

同時に、デジタル化による恩恵を誰もが享受でき、誰一人取り残される人がいないように配慮しながら進めていきます。

重点プロジェクトの位置付け

以下のとおり、5つの基本目標を分野横断的に特に力を入れていく4つのテーマとして「重点プロジェクト」を位置付け、プロジェクトに沿った施策を重点的に推進していきます。

特に力を入れて分野横断的に取り組む
4つのテーマを「重点プロジェクト」として
設定し、重点的に推進

重点プロジェクト

少子化対策プロジェクト	住み続けたい暮らし実現プロジェクト	魅力発信プロジェクト	デジタル化推進プロジェクト
-------------	-------------------	------------	---------------

基本目標	施策	少子化対策プロジェクト	住み続けたい暮らし実現プロジェクト	魅力発信プロジェクト	デジタル化推進プロジェクト
基本目標① 安心して子育てでき 誰もが学び続けられる	1-1 総合的な子育て環境の充実	●			
	1-2 木島平型教育の推進	●			●
	1-3 保育・幼児教育の推進	●			
	1-4 文化活動の推進と文化財の活用				
	1-5 生涯学習の推進				●
基本目標② いきいきと 健やかに暮らせる	2-1 みんなで支え合う地域づくり		●		
	2-2 地域医療体制の充実	●	●		
	2-3 健康長寿の村づくりの推進				
基本目標③ 多様な産業が 活力を生み出す	3-1 滞在型観光の推進		●	●	●
	3-2 商工業の振興と新しい産業の創出		●		
	3-3 地域資源を活用した特産物のブランド化			●	
	3-4 農業の振興		●		●
	3-5 森林の活用				
基本目標④ 自然と調和し 安心して暮らせる	4-1 安全で円滑な交通インフラ整備の推進		●		
	4-2 誰もが安心して暮らせる村づくり	●	●		●
	4-3 情報発信の強化			●	●
	4-4 移住定住の促進	●	●	●	
	4-5 空き家対策の推進	●	●		
	4-6 地球温暖化防止対策の推進		●		●
	4-7 環境保全とごみ減量化・リサイクルの推進		●		
基本目標⑤ 持続可能な村を ともに創る	5-1 持続可能な集落活動の推進	●	●		
	5-2 人権が尊重される村づくりの推進				
	5-3 村民とともに進める村づくり				
	5-4 時代に適合した行財政運営の推進				●
	5-5 姉妹都市「調布市」との交流促進			●	
	5-6 関係人口の創出		●	●	●
	5-7 下高井農林高校との連携				

※特に関連の深い施策に●を表示

(2)取組内容

【基本目標①】 安心して子育てでき誰もが学び続けられる

1-1 総合的な子育て環境の充実

めざす姿

妊娠期前から子育て期まで一連の環境整備により、0歳から18歳までの子ども及び関連する世帯への支援が円滑に行われ、子育て環境が充実しています。

取組

- ① 子育て支援の充実
- ② 安心して子育てできる環境づくりと、子育て支援室の充実
- ③ 親と子の健康づくり支援
- ④ 子ども家庭センターの設置と推進による子育て世代への包括的な支援体制の充実
- ⑤ 地域全体で支える子育て環境の充実

1-2 木島平型教育の推進

めざす姿

木島平型教育の推進により、豊かな人間性と自律性を備え、郷土愛と誇りをもてる子どもが育っています。

取組

- ① 人権を尊重し合い、多様性を認め合う学校教育
- ② 他者との共同による「主体的・対話的で深い学び」の充実
- ③ 多世代・多様な立場の村民が学び合う、地域コミュニティの充実
- ④ 国内外の同世代とつながる体験学習・交流の充実

1-3 保育・幼児教育の推進

めざす姿

自然、文化、人を活かした地域密着型の特色ある保育が進められています。

取組

- ① 保育・幼児教育の推進
- ② 地域教材を取り入れた保育活動の推進

1-4 文化活動の推進と文化財の活用

めざす姿

保存されている文化財を後世に残し、村民が歴史を学ぶことで村に対する誇りと愛着が育まれています。また、幅広く村民が芸術・文化に関心を持ち、心豊かに暮らしています。

取組

- ① 芸術・文化活動の推進
- ② 文化財の保護と活用の推進

1-5 生涯学習の推進

めざす姿

自然と文化を愛し、気軽に学べ、自己を高める場を提供することで、村民一人ひとりが健康で生きがいを持って暮らしています。

取組

- ① 多様な学習機会の創出
- ② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

【基本目標②】 いきいきと健やかに暮らせる

2-1 みんなで支え合う地域づくり

めざす姿

誰もが生きがいを持ち、地域に住むみんなで支えあいながら、心身ともにいきいきと生活しています。

取組

- ① 高齢者の生きがいづくり
- ② 共に支え合う村づくり
- ③ 地域で安心して暮らせる環境づくり
- ④ 障がい者(児)福祉の充実
- ⑤ 地域包括ケアシステムの推進

2-3 健康長寿の村づくりの推進

めざす姿

自分の健康に関心を持ち、健康的な食事や運動の習慣を持つことを通して、誰もが健康に生活しています。

取組

- ① 健康づくりの推進
- ② 健康づくりの支援
- ③ 疾病予防の推進
- ④ 介護予防の推進
- ⑤ 高齢者の疾病重症化予防の推進

2-2 地域医療体制の充実

めざす姿

地域の医療機関が確保されることで誰もが必要な医療を受けられ、安心して生活しています。

取組

- ① 地域中核医療機関への支援
- ② 地域医療機関との連携強化
- ③ 休日夜間医療体制の確保

【基本目標③】 多様な産業が活力を生み出す

3-1 滞在型観光の推進

めざす姿

本村ならではの豊かな自然や食、歴史・文化など磨かれた地域資源やおもてなしにより、多くの人が年間を通じて訪れ、村ににぎわいと活気が溢れています。

取組

- ① 観光資源の活用と保全
- ② 体験交流観光の充実
- ③ おもてなし観光の推進
- ④ 効果的なPR活動の推進
- ⑤ 交流活動の推進による関係人口の創出【5-6 関係人口の創出 ②へも再掲】
- ⑥ インバウンド需要への対応・対策の検討

3-4 農業の振興

めざす姿

農地の集積・新技術の導入による効率的な農業の展開や、若手農業者等と連携した多様な農業ビジネスの創出により、地域農業の活力が生み出されています。

取組

- ① 有機の里づくり
- ② 多様な担い手確保
- ③ 優良農地の保全
- ④ 農地の再生
- ⑤ 有害鳥獣対策
- ⑥ スマート農業の展開

3-2 商工業の振興と新しい産業の創出

めざす姿

地域に根差した産業が継続し、新たな事業にチャレンジしやすい環境が整い、事業や雇用が生まれ地域が活性化しています。

取組

- ① 中小企業支援
- ② 創業・事業承継の支援

3-5 森林の活用

めざす姿

民有林の整備や森林環境教育を進めることで、森林資源が持続的に活用されています。

取組

- ① 森林資源の循環
- ② 森林環境教育の推進
- ③ 100年先の森づくり

3-3 地域資源を活用した特産物のブランド化

めざす姿

ブランド化により、生産者の所得向上など経済の好循環が生まれるとともに、村全体のイメージアップが図られ、村民の村に対する誇り、愛着が高まっています。

取組

- ① 地域資源のブランド化
- ② 新たな振興作物の導入
- ③ ブランド米生産の振興
- ④ 農産物のプロモーション強化【5-5 姉妹都市「調布市」との交流促進 ⑤へも再掲】
- ⑤ 6次産業化の推進
- ⑥ ふるさと納税制度を活用した産業振興

【基本目標④】 自然と調和し安心して暮らせる

4-1 安全で円滑な交通インフラ整備の推進

めざす姿

村内の道路ネットワークの適切な維持管理と乗客のニーズに応じた効率的な交通環境の整備を図り、持続可能な社会基盤が確保されています。

取組

- ① 道路整備と交通確保の推進
- ② デマンド交通及びシャトル便の交通制度の改善

4-4 移住定住の促進

めざす姿

移住定住施策を充実させることにより、転出者が減り、転入者が増えています。

取組

- ① 村営住宅等の利活用
- ② 体験住宅を活用した村の魅力発信
- ③ 移住促進プロモーション
- ④ 若者の定住に繋がる住宅支援

4-2 誰もが安心して暮らせる村づくり

めざす姿

各地区で自主防災組織を組織し機能を充実させ、高齢者をはじめ地域の誰にも支援が届く地域支え合い体制が整備されています。また、防災備蓄品目を見直し、災害時要配慮者である高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児等に配慮した品目も備蓄しています。

除雪作業の軽減や重要なライフラインである上下水道事業の安定した運営、そして情報通信施設の安定した運営により、村民の安心と安全が確保されています。

取組

- ① 各地区での自主防災組織の整備・充実
- ② 災害備蓄品目の見直しと充実
- ③ 住宅等克雪化の普及推進
- ④ 上水道事業の安定運営
- ⑤ 下水道事業の安定運営
- ⑥ 情報通信施設の安定した運営【5-6 関係人口の創出 ③へも再掲】

4-5 空き家対策の推進

めざす姿

空き家の利活用と流動化を進めることで、地域の安心・安全と農村の原風景が守られています。

取組

- ① 空き家の把握と利活用の促進
- ② 空き家の解体促進と空き地の有効活用
- ③ 空き家の発生予防と抑制

4-6 地球温暖化防止対策の推進

めざす姿

村民全員が地球温暖化に対して関心を持ち、自分の出来ることから取り組むことで、木島平村地球温暖化対策実行計画のCO2削減目標が達成されています。

取組

- ① 小水力発電事業の推進
- ② ゼロカーボンの推進(区域施策)
- ③ ゼロカーボンの推進(事務事業)

4-3 情報発信の強化

めざす姿

様々な情報発信手段を活用し、誰もが分かりやすく、見つけやすい情報が発信できています。

取組

- ① 災害情報伝達経路整備
- ② 魅力ある情報発信の強化
- ③ 住民への的確な情報発信

4-7 環境保全とごみ減量化・リサイクルの推進

めざす姿

環境保全に対する意識や関心が高まることにより農村の原風景が守られ、ごみの削減や再資源化が促進され、環境への負荷が抑えられています。

取組

- ① ごみ減量化とリサイクルの推進
- ② 農村の景観保護と環境保全の推進

【基本目標⑤】 持続可能な村をともに創る

5-1 持続可能な集落活動の推進

めざす姿

集落と行政の役割を見直し、時代の流れに対応した地区づくりを支援することで、集落活動の持続性が確保されています。

取組

- ① 地区づくりの推進
- ② コミュニティ活動の支援
- ③ 持続可能な集落活動の支援
- ④ 分館の改修

5-2 人権が尊重される村づくりの推進

めざす姿

すべての村民の尊厳と多様性を尊重し、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題に係る差別の解消を進めることで、村民の人権が尊重される社会が実現されています。

取組

- ① 人権擁護に関する総合計画との連動
- ② 人権センター事業の実施
- ③ 相談窓口の充実

5-3 村民とともに進める村づくり

めざす姿

行政は地域と連携しながらサポートすることで、村民が主体となった村づくりが進められています。

取組

- ① 村民との対話と協働
- ② 村民が主体となった村づくりの支援
- ③ 男女共同参画の推進

5-4 時代に適合した行財政運営の推進

めざす姿

中長期的な視野に立った計画的な行財政運営を進めることで、減少する人口規模や世代ごとのニーズに見合った、効率的かつ持続的な行政サービスの提供ができています。

取組

- ① 公共施設等総合管理計画の推進
- ② 各種行政手続きの簡素化・利便性の向上
- ③ 効率的な行財政運営

5-5 姉妹都市「調布市」との交流促進

めざす姿

姉妹都市「調布市」との交流を促進し、両市村民が互いを身近に感じられるよう様々な事業を展開することで、本村の魅力や活力が生み出されています。

取組

- ① 調布・木島平交流クラブ及び姉妹都市交流調布友の会の事業の推進
- ② 姉妹都市職員交流の推進
- ③ 農産物のプロモーション強化【3-3 地域資源を活用した特産物のブランド化 ④の再掲】
- ④ 災害対策の連携推進

5-6 関係人口の創出

めざす姿

連携大学、友好都市をはじめ、多くの方に様々な事業を通じて木島平村を知ってもらうことで、関係人口の創出が図られています。

取組

- ① 大学連携の推進
- ② 交流活動の推進による関係人口の創出【3-1 滞在型観光の推進 ⑤の再掲】
- ③ 情報通信施設の安定した運営【4-2 誰もが安心して暮らせる村づくり ⑥の再掲】

5-7 下高井農林高校との連携

めざす姿

環境保全に対する意識や関心が高まることにより農村の原風景が守られ、ごみの削減や再資源化が促進され、環境への負荷が抑えられています。

取組

- ① ごみ減量化とリサイクルの推進
- ② 農村の景観保護と環境保全の推進

5. 地区づくりテーマ

集落	テーマ
糠千	誰もが訪れたい清流の里～糠千～
山口	自然と共生し、健康で充実した生活が送れるコミュニティの形成
柳久保	千年の明日を目指して！
大町	安全・安心・楽しい大町
中町	木と緑と心のふるさと
西町	古くから受け継がれている伝統文化を未来へつなげる西町区
池の平	農業と観光の融合、豊かな自然との共生
南鴨	「大塚・小塚・平塚」と区民が結ぶ伝統とロマンの里 南鴨
高石	住みよい豊かな環境づくり
庚	一人ひとりの知恵袋
市之割	区民がつどい ころるかよう 笑顔あふれる市之割
西小路	お互いに支えて暮らせる西小路
中島	自然と歴史の故郷づくり
部谷沢	小樽清水の里山づくり
原大沢	御魂山に生きづくふるさとへの愛着
千石	ホタル飛びかう千石の郷
上千石	がんばろう 元気の維持する上千石
平沢	豊かな自然、ゆとりと安心、生き生き平沢
馬曲	絆でつなぐ歴史の郷 馬曲
栄町	村の玄関口として明るく住みよい環境づくり
中村	新たな出会い、和がつながる地域づくり
小見	和を持ってみんなで造ろう水と緑の豊かな小見の里
和栗	住みよい環境と笑顔があふれる地区づくり
稲荷	区民の活力を生かした元気な地区づくり
内山	和紙と清水の里 内山
北鴨	ずー～と住みたい、住んでみたい村一番の地区づくり

木島平村第7次総合振興計画（概要版）

令和6年9月発行 木島平村総務課政策情報係

〒389-2392 長野県下高井郡木島平村大字往郷914番地6

TEL：0269-82-3111（代表） FAX：0269-82-4121

E-mail：seisaku@vill.kijimadaira.lg.jp
